

環境保護活動の歩み

1971 ● 公害防止を目的に「環境改善部」を創立

1972 ● 省エネルギー推進の会議体を設置

1974 ● 生産事業所への排煙脱硫装置設置を開始
● 尾道工場（無排水工場）完成
● 平塚製造所、排水処理設備を備える廃棄物最終処分場を設置

1975 ● 平塚製造所、ボイラー脱臭装置が設置
● 平塚製造所、表面処理廃水処理装置を設置
● 「公害の手引き」を発行

1976 ● 「環境改善部」を「環境管理室」に名称変更
● 平塚製造所、廃タイヤリサイクル実証プラントを設置
● 平塚製造所、地盤沈下防止用水循環再利用装置を設置
● 平塚製造所、低NOxバーナーを設置

1992 ● 「環境管理室」を発展・強化させ、名称を「環境保護推進室」に変更
● 三重工場、廃熱利用式大型タイヤ焼却炉を設置

1993 ● 平塚製造所、ボイラー燃料を重油から都市ガスに転換（第1期）
● 「環境行動計画」を策定、地球温暖化対策、廃棄物削減などを行動目標化

1994 ● 平塚製造所、ボイラー燃料を重油から都市ガスに転換（第2期）
● 天然ゴムの梱包材を木枠から鉄製枠の通い便方式へ変更
● 平塚製造所、特定フロンから代替フロンへの転換を完了

1995 ● 「環境の手引き」を発行
● ポリエチレンリサイクルで1995年度「リサイクル推進協議会会長賞」を受賞
● 平塚製造所、「1.1.1-トリクロロエタン」の使用を廃止

1996 ● 三重工場、1996年度「リサイクル推進協議会会長賞」を受賞
● 平塚製造所、廃タイヤ再利用で「かながわ地球環境賞」を受賞

1997 ● 三重工場、大型脱臭装置を導入（第1期）
● 尾道工場、緑化モデル工場として「広島県知事賞」を受賞

1998 ● 「環境基本方針」「環境行動指針」「行動目標」を制定
● 「タイヤのLCA（ライフサイクルアセスメント）」を開発
● 三島工場、「ISO14001」の認証を取得

1999 ● 平塚製造所、三重／新城／尾道／茨城工場、「ISO14001」の認証を取得
● 平塚製造所、コージェネレーションシステムを導入

2000 ● 尾道／新城工場、エネルギー管理で「通産省表彰」を受賞
● 「エコレポート」の発行を開始
● ヨコハマタイヤ フィリピン、「ISO14001」の認証を取得
● 「エコプロダクツ」展への出展を開始

2001 ● 研究開発段階から有害化学物質を排除する「化学物質管理強化」を開始
● 三重工場、ゴム臭気防止設備を導入（第2期）
● 三島工場、ボイラー燃料を重油から都市ガスに転換
● 2005年度末達成を目標に「ゼロエミッション」活動を開始
● 2000年度分から環境会計の公表を開始
● 横浜ハイデックス、「ISO14001」の認証を取得

2002 ● 三島工場、「地球環境保全功労賞」を受賞
● YHアメリカ、「ISO14001」の認証を取得
● 三島工場、「3R推進協議会会長賞」を受賞

2003 ● ヨコハマタイヤ フィリピン、コージェネレーションシステムを導入
● 新城工場、「資源エネルギー庁長官賞」を受賞
● ヨコハマラバー（タイランド）カンパニー、「ISO14001」の認証を取得
● 三重工場、「3R推進協議会会長賞」を受賞
● 平塚製造所、三島／尾道／茨城工場、「ゼロエミッション」を達成

2004 ● 三重／新城工場、「ゼロエミッション」を達成

2005 ● 平塚東／長野工場、「ゼロエミッション」を達成。国内全8事業所が「ゼロエミッション」達成
● 三島工場にコージェネレーションシステムを導入
● 環境経営中長期計画を策定
● 環境経営体制を刷新し執行責任を明確化

2006 ● 三重工場にコージェネレーションシステム導入
● 杭州横浜輪胎、「ISO14001」の認証を取得
● 国内8生産事業所で「完全ゼロエミッション」達成
● 新中期経営計画「GD100」の基本方針に「トップレベルの環境貢献企業」掲げる
● 国内8生産事業所の温室効果ガス排出量、京都議定書目標を上回るマイナス8%達成（2005年度第4四半期）